



Journal

第9号 2005.10

東商LADY

東商女性会少子化問題委員会発足

～女性経営者ならではの実行性の高い提言を目指して～

第21回関東商工会議所女性会連合会総会（東京大会）

「名古屋商工会議所女性会との交流会」&「愛知万博“愛・地球博”視察会」

組織基盤強化活動「パワーアップ2005-07」キックオフ

研修会、園遊会、交流会、ネットワーク例会

東商支部の女性関連組織をたずねて ～江東支部女性部会～

ぶらり東京の旅 ～等々力渓谷～

女性経営者俳句・川柳

メディアに登場したメンバーたち

Journal

2005年4月

東商女性会少子化問題委員会発足 女性経営者ならではの実行性の高い提言を目指して



齋藤 朝子
東京商工会議所女性会会長

が、この少子化問題を働く女性の問題として重要かつ喫緊のテーマと捉え、女性の立場から意見具申ができる組織体制を目指す一環として、この4月から少子化問題委員会を設立し、活動を始めました。

我が国の少子化問題は、高齢化の着実な進行も併せて考えると、国力低下や社会保障制度、防災や防犯、地域社会の衰退など、社会・経済全体に未曾有のインパクトを与えることが懸念され、我が国の将来を決定づける基本的かつ最大の問題の一つであるといえます。

少子化の傾向はすでに、70年代前半に始まっており、75年の統計発表(旧厚生省)では1.91であった合計特殊出生率が、95年には1.42、そして新聞でも報じられたとおり、04年は1.29にまで低下しております。

東京商工会議所女性会は現在、研修、交流、情報・広報の三担当を中心に活発な活動を行っております。

本委員会では、女性経営者としての観点から少子化問題の原因・対策を論じるべく、現状把握や議論を重ねる等して研鑽を積み、東京商工会議所の人口問題委員会と連携をとりつつ、関係各省庁に対し活発な要望・提言活動を展開して参りたいと思っております。

このためにも少子化問題に関する各方面のオーソリティーの方々からのレクチャーや、会員の皆様の出席や育児等の貴重な体験を踏まえたご意見やご提案等を十分に反映した提言として取りまとめ参りたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

講演会

第一回 2005年6月9日

第二回 2005年8月2日

『少子・高齢化への政策対応』

岡澤先生は「日本の問題を日本だけで分析するのではなく、常に変化

赤川先生はちくま新書からも著書を出されている方。

する世界の視点から分析することが重要です。常識・非常識の概念も時間や空間とともに反転が可能。また意思決定過程も従来、リーダーシップをとってきた『男・中年・日本人・生え抜き』だけではなく、価値を複合的にするためにも女性が参画すべき」と説き、大いに会場の共感を呼んでいました。

(記・奥山睦 写真・奥永久美、西尾多恵子)



岡澤 憲実
早稲田大学社会科学部教授

①男女共同参画が実現すれば少子化を妨げるという主張には「実質的な根拠」が乏しい②男女共同参画は、仮に少子化を進めることになろうとも、「選択の自由」と「性の平等」を保障するという観点から必要である③少子化の弊害を出生率回復によって克服するのではなく、「少子化を与件とした制度設計」によって対応すべき④とくに選択の自由と負担の公平という理念に基づいて、年金制度と子育て支援を再設計すべき。という大きく4つの内容について話され、現在施行されている「少子化社会対策基本法」「次世代育成支援対策推進法」などにふれ、



吉川 稲美
少子化問題委員会委員長

昨年、日本・東京商工会議所の山口信夫会頭が、再任のご挨拶の中で、取り組むべき重要課題の一つとして「少子化問題」を挙げられました。これを受けて齋藤朝子会長が、意見具申できる体制づくりの一環として、女性会に新たに委員会の設置を提案され、会長のご指示を受け、私が委員長に就任致しました。

まず会員の皆様へこの委員会への参加を呼びかけましたところ、24名のご参加をいただき、この4月より本格的に活動を始めております。

以前、私が担当させていただいた社会問題委員会も、平成14年度に日商・東商「政策委員会」の検討課題にあわせ「少子・高齢化の問題」に取り組み、「少子化対策への提言」として①保育士等の専門職の再教育機関の設置②小児科を削減・統合せず行政で責任を持つて残し、保育

施設と小児科医との連携を強化する③託児所・保育所などのオンブズマン的評価機関の設置の三つを、東京商工会議所「少子高齢化特別委員会」へ提出しました。また、同年のもう一つの検討課題「教育問題」においては、「食育」の必要性を提言致しましたが、当時は男性委員の皆様のご理解がなかなか得られず苦労したことが思い出されます。しかし、今では国も食育基本法を設置するまでに至りました。活発な意見交換の結果としてこのような提言が生まれましたことは、女性会の一つの実績・成果と思っております。

しかしこの度、再度「少子化問題」に取り組むことになりましたのは、以前にもましてこの問題が深刻化し、教育の問題とともに現在の日本社会の最優先課題の一つになっていくからでございます。

今後の具体的な活動として、年内はこの少子化問題に取り組んでいる各方面の方々をお招きし、女性会の皆様にも参加いただける講演会を開催していきます、問題意識を高めるとともに、国内外の現状など基礎知識習得を図りたいと考えております。あ

わせて皆様のご意見を伺いながら、委員全員の共通認識を深め、来年にはそれらを踏まえ、委員会として「提言」を取りまとめいく予定です。特に、仕事を持つ女性として、これまでの経験や具体例に基づき、女性ならではの感性を活かし、机上の論理に終わらない実行性の高い提言を取りまとめることを目標としていきたいと考えております。この少子化問題こそ女性が提言し、行動することに意義があり、そして社会に大きな影響を及ぼし得る重要課題だと確信致しております。

少子化対策は国の根幹に関わる問題であります、非常に時間を要し、一朝一夕に功を奏するような問題ではないと思えます。だからこそ、より多くの会員の皆様に広く問題意識を持っていただくことで、お互いの知恵を出し合い、少子化への流れを変えるべく行動し、働きかけていけるよう努めていきたいと思えます。是非多くの方々に関心をお寄せいただき、充実した委員会にしていきたいと考えておりますので、ご支援・ご協力をお願いしたいと思います。

各国の出生率と子育て支援、働く女性の地域ごと出生率など、具体的なデータをレジュメで示しながら話が進んでいきました。

子どもが減る（人口が減る）ためにおきる社会への弊害、経済成長の現象・年金に関わる問題などをどうしたら解決していくのか、私たちがどう捉えて関わっていくかで、この問題を考えることが大切とし、結論として①性からの自由②性への自由③「性への自由・性からの自由」がともに制度的に保障されてこそ、自由で公平な社会であり、そういう社会こそが男女共同参画社会である、という内容でした。

講演後は質疑応答の時間が設けられ、二人の会員からの質問と先生からのコメントがありました。

(記：相坂柚火子 写真：水上郷子)



赤川 学
信州大学助教授

5月
16日

第21回
関東商工会議所
女性会連合会総会東京大会



第21回関東商工会議所女性会連合会総会東京大会会場



山口 信夫
日本・東京商工会議所会頭

引き続き、山口信夫日本・東京商工会議所会頭並びに齋藤朝子東商女性会会長より歓迎の挨拶があり、内閣府男女共同参画局長名取はにわ氏他からご挨拶をいただきました。

開会の宣言、国歌と商工会議所女性会の歌の斉唱が行われた後、主催者として小泉清子関商女性連会長の挨拶がありました。そのなかで今こそ女性経営者の視点が求められているとコメントがなされました。

第21回関東商工会議所女性会連合会総会東京大会がホテルニューオータニで開催されました。関東地区の71商工会議所女性会から参加された約118名の皆様に会場は花が咲いたように華やかでした。



小泉 清子
関商女性連会長



出席女性会挨拶・手を振る東商女性会会員

続いての出席女性会の紹介では、それぞれの女性会の名前が読み上げられると、各地女性会から郷土色あふれるアピールがされました。その後、議件に入り、平成16年度事業報告及び収支決算、平成17年度事業計画及び収支予算が承認を受けました。また次回開催予定地の山梨県甲府商工会議所女性会より、第22回総会の紹介がありました。続いて政策委員会報告として平成16年度の各地女性会活動事例として、10女性会の活動報告がありました。最後に閉会の挨拶があり、総会は無事に幕を閉じ、特別講演会へと移りました。

(記：金原好紀 写真：相坂袖火子、阿部千恵子、五十嵐容子、大津洋子、佐原泰子)

第21回

関東商工会議所女性会連合会総会
東京大会特別講演会

「日本人の誇りと日本の可能性」

東京都知事 石原 慎太郎氏



本日は大変難しい題を頂きましたが、この頃日本人は自信をなくしているような気がします。これは国民一人ひとりの責任でもありませんが、日本の国家社会を代表する政治のあり方に問題があるという気がしてなりません。政治の責任は大変大きいと思う。私も国会議員を25年間やり、責任者の一人です。あまり言えませんが、日本人の器量水準は世界的に高く、しかも日本は世界のなかでも

大変社会が成熟した国でありながら、今の日本はなんだか物足りない。

その原因は、皆さんが企業を育ててきたなかで、自分をはっきり表現していかないと、企業と企業の戦いには勝てないという経験からもおわかりになるかと思いますが、いたずらに喧嘩腰でないけど、人間と人間の関わり、他者と他者との関わり、まして国においても同じ白人、同じ東洋人、同じ中近東の人でもそれぞれの伝統、個性がありますので、それを主張しなければ国と国の関わりもうまくいかない。やはり私達自身で自分がどう考えているのか、どうしたいのかをはっきり主張していかないと成り立っていかない。

私は日本人で初めて外洋ヨットの国際レースに参加しましたが、一番最初は香港からマニラまでごく短い4、5日間のレースでした。それから'63、'65、'73年とロスアンゼルスからハワイまでのレースに行きました。それが、それを契機にいくつもの国際レースに参加しました。皆さんはヨットの競技のことはあまりご存知ないかと思いますが、学生達のやっている小型のディンギー・レースの他に、それぞれ大きな船がハンディキャップを持って、決められたコースを何日、何時間、何分、何秒で走ったか結果を競うレースがあり、試合によ

っては大きな船でもディンギー・レースのように決められた海面にブイでマークを打ったコースを回るレースもある。そうすると小さなブイのまわりに大きな船がひしめき合って、決められたコースを非常に複雑で難しいルールの中で競うことになる。接触の危険もあるなかで、権利を主張して航路を確保しなければならぬ。そんなとき、まったく知らない同士であっても、怒鳴りあっても強く自己主張をしないと、たとえ自分の方に権利があっても、引き下がらなければならぬことになる。国際関係もそれに似ている。日本とアメリカ、日本と中国の関係も、それぞれの国の個性があり、国家と国家の個性のぶつかり合い、摩擦がおきて当然です。それは企業と企業でも、人と人でも同じです。そのなかで国としての主張、企業としての主張を強くしないと、それが国や企業の利益につながらないことになる。なぜ日本人は自己主張をしなくなってしまったのでしょうか！

そしてもう一つ、いかなる大きな国家社会、企業も贅沢にかまえて安穩としていると、場合によってはあっという間に衰弱して滅びる。ダイエーの例もそうだと思う。時間が過ぎる間に、何が足りなかったか、世の中がどう変わったか、これはまだ

まだ大丈夫：というように状況を冷静に見ていなかったのだと思う。いづいかなる時も、相対的に冷静に世の中の移り変わりを見つめ、自己分析・反省をすることは大変重要で、冷静に自己分析をすることで衰弱していく原因に気がついて元に戻すことができることもある。

しかし、いちばん厄介な原因は、自分のことを自分で決められなくなるといふことです。そういう国はあつという間に衰弱して滅びてしまう。今の日本は防衛問題にしても、最後はアメリカに任せてしまっているが、アメリカの世界戦略はほとんど方向転換している。日本はもつとしっかりと現実を見つめなければならぬ。しかし日本は色々な力を持っている。それはたとえば技術であり、金融資産といったものです。こうしたものを戦略的に活用すれば日本は本当の意味で自立できる。東京も頑張っているが大事なことはもつと国がやらなければいけない。どんなすごい技術を持っていても、いくら金融資産があつても、それを活用しなければ何にもならない。これらの力を活力に変え、日本が自信を取り戻すために今一番大切なのは、相対的自己認識を持つこと、そして自らが決断し主張するということです。

(記：保田和江)

アトラクション 懇談会

総会終了後、場所をホテルニューオータニ「鶴の間」に移して、アトラクションと懇親会が催されました。会場には、120名、119ものテーブルがセッティングされ壮観でした。参加者相互の「交流」と「友情」の輪を広げることが目的に、各地の会員の方々がアトラダムに着席いただくとともに、コーディネートとして東商女性会会員が各テーブルにつきました。

午後5時15分より、アトラクションが開催されました。「胡弓で弾める永遠のメロディー」の題のもと、中国国家大賞他数々の賞を受賞された胡弓演奏家、楊興新（ヤン・シン）さんの哀愁漂う胡弓の音色

が、会場に流れました。

楊さんは、88年に来日され、日本人女性と御結婚。永住を決意され、その後奥様のご闘病など幾多の困難の末、自作の曲を中心にアルバム9枚をリリースされた胡弓の第一人者です。その時々のご体験を交えながら、「Amazing Grace」から始まり、軽妙な「競馬」、鶏の鳴き声を表現した「鶏」、「荒城の月」アンコールの「母に」まで、心に染み渡る楽曲に思わず感動の涙を流される方の姿も多く見られました。日中関係が取りざたされるなか、アジアの同胞として友好を願う楊さんの思いの伝わるアトラクションでした。

懇親会は、ホテルニューオータニ伊佐料理長渾身の和洋中のお料理と、蓼科フォーラムのワインがたい



山崎 登美子
関商女性連総会東京大会実行委員長



胡弓演奏家
楊 興新 氏

た。文字どおり懇親を深め、次回甲府大会での再会を誓い、全日程を無事終了しました。
（記：石野康子 写真：相坂柚火子、阿部千恵子、五十嵐風子、大津洋子、佐原泰子）

へん好評を呼びました。ピンクのテーブルクロスに黄緑色のナプキンがコーディネートされた5月らしい装いのテーブルで、コーディネーターの東商女性会会員を中心に各地会員の方が活発に交流し、直ぐに次回の再会を計画されたテーブルもあつたようです。所属女性会は違っても経営者、女性としての悩みは皆同じ、地域や職種を越えて打ち解けあえるところが女性会の特徴でしょう。名刺交換される方、関商女性連で知り合われた会員との再会を喜ばれる方など、各テーブルは終始笑顔、笑顔であふれていました。

今回の東京大会はシンプルである事も目標とされてきました。名産品の販売、総会後のエキスカッション等は行われませんでした。が、「大福帳」の箱に入った「おこし」を東京のお土産としてお持ち帰りいただきました。



安岡 百合子
関商女性連総会東京大会実行副委員長

次回開催地会長からのメッセージ

甲府商工会議所女性会

伊藤 治子 会長より

関商女性連の簡素化が目指されていますが、「さすが東京」でたいへん素晴らしい大会でした。日中関係の取りざたされるこの頃に胡弓の演奏は懸念されましたが、本当に感動しました。次回甲府でお待ちしております。



この日を迎えるまで

関商女性連総会〔東京大会〕

～実行委員会の活動経緯～

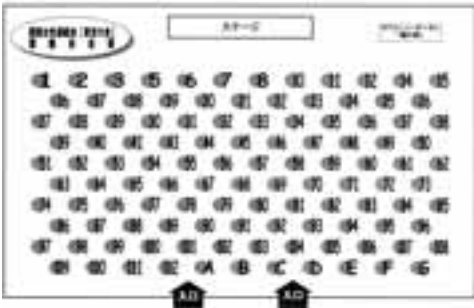
【2月16日(水)】(於：東商ビル)
第1回実行委員会：総会の概要、大まかな役割分担の決定

【3月24日(木)】(於：ホテルニューオータニ)
第2回実行委員会：会場の下見、試食会

【5月11日(水)】(於：東商ビル)
第3回実行委員：当日に向けての最終確認

【5月15日(日)】(於：ホテルニューオータニ)
前日準備：約120名分の資料セット及び会場セッティング

【5月16日(月)】(於：ホテルニューオータニ)
前日準備：受付係、誘導係、VIPアテンダント係、懇親会誘導係に分かれ会の進行・運営



第21回 関商女性連総会「東京大会」 総会会場 座席表		ステージ	
1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16
17	18	19	20
21	22	23	24
25	26	27	28
29	30	31	32
33	34	35	36
37	38	39	40
41	42	43	44
45	46	47	48
49	50	51	52
53	54	55	56
57	58	59	60
61	62	63	64
65	66	67	68
69	70	71	72
73	74	75	76
77	78	79	80
81	82	83	84
85	86	87	88
89	90	91	92
93	94	95	96
97	98	99	100



第21回 関東商工会議所女性会連合会総会東京大会 次第

- ◆開催日 平成17年5月16日(月)
- ◆会場 ホテルニューオータニ
- 1. 総会【午後1時～3時】
- (1) 開会
- (2) 国歌斉唱
- (3) 商工会議所女性会の歌斉唱
- (4) 主催者挨拶
- (5) 歓迎挨拶
- (6) 来賓挨拶
- (7) 出席女性会挨拶
- (8) 議件
 - ① 平成16年度事業報告(案)について
 - ② 平成16年度収支決算(案)について
 - ③ 平成17年度事業計画(案)について
 - ④ 平成17年度収支予算(案)について
 - ⑤ 次回(第22回)総会開催地について
 - ⑥ その他
- (9) 政策委員会報告
- (10) 閉会
- 2. 特別講演会【午後3時15分～4時45分】
 - 『日本人の誇りと日本の可能性』
 - 東京都知事 石原 慎太郎 氏
- 3. アトラクション【午後5時15分～6時】
 - 『胡弓で弾でる永遠のメロデー』
 - 胡弓演奏家 楊 興新 氏
- 4. 懇親会【午後6時～7時30分】



「名古屋商工会議所女性会との交流会」& 「愛知万博『愛・地球博』視察会」

経験している活動を互いに学びあう
ことで、次世代への知恵を見つける

6月17日朝の東京駅は、関西方面へ向かうビジネスマンでにぎわっていました。女性会メンバー34名を乗せたひかり号は一路名古屋へ。12時過ぎに名古屋駅に到着し、バスで「徳川美術館」へ向かいました。バスの中で齋藤会長より「昨日までの雨も上がり、晴れ女ばかりで天気にも恵まれました。本日は名古屋女性会との交流、明日は『愛・地球博』の見学と、この2日間、皆さん元気によろしく願います。」との挨拶がありました。



バスの中で挨拶をされる齋藤朝子東京商工会議所女性会会長

名古屋の伝統文化に出会う

名古屋の中心地を抜け、元武家屋敷の一角にある徳川美術館へ到着。この日は常設展示品のほか徳川家光の長女・千代姫が尾張徳川家へのお輿入れに持参した道具一式が公開。見学者から思わずため息がもれていました。

互いの経験を学びあう絶好の時間

名古屋市栄の商工会議所へバスは移動。名古屋商工会議所女性会の会長のお出迎えを受けて会場へ。心づくしのお茶とお菓子が、暑さにいささか疲れていた私たちの身体を癒してくれました。交流会は名古屋女性会の小川絹子副会長の司会で開会。はじめに、名古屋女性会加藤あつこ会長より「心より歓迎いたします。東京商工会議所女性会は日本一の会。会員数はもとより歴史も長いので、私たちの活動の参考にしていきたいと思います。今年は第37回全商



交流会で挨拶される加藤あつこ名古屋商工会議所女性会会長

女性連総会が名古屋で開催されました。昨年の東京での大会でのお話など、今大会へのアドバイスをいただきます。本日は名古屋をお楽しみください」とのご挨拶がありました。続いて東商女性会齋藤朝子会長の「あたたかい歓迎、心より感謝しております。今年は日本中が名古屋に注目しています。駅前や栄の商業再開発、徳川美術館の歴史的文化遺産など素晴らしいものをお持ちになつていらつしゃいます。また今世紀初の万博『愛・地球博』を楽しみにしています。名古屋の皆様を元氣をお土産に東京へ帰りたいと思います」との言葉の後、昨年の活動と少子化問題委員会の設置等の話をされました。次いで、名古屋女性会の金子紀子副会長、東商女性会の安間百合子副会長よりそれぞれの参加メンバー総勢67名を紹介いたしました。

続いて名古屋女性会棚橋道子副会長より「現在86名の会員、企業・研修・親睦交流・PRの四つの委員



会に分かれております。今年秋に開催される全国商工会議所女性会連合会総会に向けて活動し、元氣な名古屋を目指していきたいと思っております」と活動内容の紹介がされました。東商女性会からは、各担当の副会長からそれぞれの活動を紹介。吉川稲美副会長は一昨年から研修活動、少子化問題委員会の発足等の活動についての報告、山崎登美子副会長は情報・広報としての「東商LADY」と「ホームページ」についての活動内容を報告、山野壽子副会長は交流として、昨年の新年懇親会、55周年行事等の活動などについて報告されました。

各報告の後は質疑応答。そして『愛・地球博』の紹介ビデオが上映され、各自の名刺と情報交換へ。各テーブルでは活発な話がされ、翌日

の万博会場でのアドバイスマイタダキました。最後に渡辺光子副会長より「心のこもった歓迎をありがとうございます。ございます。名古屋はパワフルな活動をしていきます。今年秋の全商女性連総会も準備が大変でしょうが、成功をお祈りしています」とお礼の言葉が述べられました。次いで名古屋商工会議所小野明鴻常務理事・事務局長よりお礼のご挨拶がありました。



古の神宮と名物料理

名古屋商工会議所女性会と記念撮影を済ませ、大きく手を振る皆様に見送られながら熱田の杜へ。思いがけず熱田神宮を参拝することができ、さわやかな大木の茂る熱田の空気を感しました。さて名古屋名物の「ひつまぶし」です。「蓬萊軒」は「ひつまぶし」発祥の店。明治創業の店は三代目の80歳をこす名物女将と名

古屋女性会メンバーの女将さんの挨拶を受け、「ひつまぶし」のいわれや食べ方も伺いました。



暑さも撥ね返け「愛・地球博」を堪能

翌朝も空は暗れわたり、暑さを感じる名古屋の中心地を出発。万博会場へ。商工会議所会員の皆様のご尽力で4つのパビリオンへの優先入場ができ、午前はゆつくりと会場を見学することができました。午後は各自自由見学へ。暑さを乗り越えバスへ帰ってくる足取りも軽く万博会場を後に名古屋駅へ。車中では齋藤朝子会長より「皆様、ケガもトラブルもなく、よい天気にも恵まれ、よい交流ができたと思います」との挨拶、今回全体のコーディネートをしてくださった安達昭子理事からも挨拶をいただき、東京へと帰りました。

(記：相坂柚火子 写真：西尾多恵子)



組織基盤強化活動「パワーアップ2005-07」キックオフ&懇親会

目標会員数600名・新規入会目標数180名をかかてオー!

9月7日(水) 夕刻6時30分より57名の参加者を得て「キックオフ&懇親会」が開催されました。はじめに齋藤朝子会長より「今まで実施の2回のパワーアップで500会員という目標を達成しました。会員になられた経営者の皆様が経営の悩みを相談したり、経営者仲間の輪を広げていくことなどでメリットを感じていただけることはたいへん嬉しいことです。今後さらに女性会活動を充実・発展させるため、今回のパワーアップで目標会員数を600名とし、その目標達成のために、新規入会数180名とすることで本日の役員会で決定されましたが、600名といわず100名へ向けてがんばっていきましょう」との挨拶がありました。

ヒコールをし、一致団結して組織基盤強化活動への取り組みのスタートを切りました。乾杯に先立ち東商広瀬一郎常任理事より「入会すると各種メリットがあります」と具体例を挙げ、さらに皆さんが女性会への多くの入会を呼びかけていただきたいとの話があり、「乾杯」の替わりに3回の「フアイト」の発声で乾杯、懇親会がはじまりました。

次いで事務局より今後のスケジュールと会員入会の配布パンフレット、目標数や実行委員会の組織、各東商23支部への協力依頼状況などについて、具体的な説明がありました。そして、組織基盤強化キックオフにあたり、山崎登美子副会長の先導で元気な大きな声でスローガンを発声、片手を挙げ、3回のシュプレ

中、安間百合子副会長の紹介により、当日出席の4名の新入会員がご挨拶。最後に吉川稲美副会長の挨拶でお開きとなりました。(記：相坂柚火子 写真：鈴木紀子)



平成17年第1回 研修会 (4月7日)

「創業138年 日本の毛皮産業」横浜元町 山岡ブランド」を拓いた経営戦略」〜私を育てた3人の男性たち〜

講師 株式会社山岡毛皮店

代表取締役社長 山岡 富美江氏

会場には企業経営の先輩の話をお聞きしようと57名の会員が集まりました。

まず、山岡様は今までの人生で3人の男性との出会いについて話されました。ジャーナリストで「女性でも職業を持つべき」という教育方針のもとお育てになられたお父様、美容院の開業を英断した際に、当時では受け入れられ難い「経営者と嫁の掛け持ち」をバックアップして下さったお義父様、山岡毛皮店三代目で、毛皮商としてのセンス、情熱、こだわりを持っていたご主人様、この3人の男性は、山岡様が職業を持つことと、情熱を持って働くことを後押しして下さいました。そしてこの3人の男性から受けた影響「女性の自立」「経営手腕」「毛皮に対する最高のこだわり」が山岡様の経営哲学となり、最先端・最高品質のファーファッションを提供する山岡ブランドの礎となっているという事です。



山岡様の情熱的なお話から山岡毛皮店の商品が多くのお客様に強い支持を受けるその理由を垣間見ることができ、講演後は終了時間一杯まで参加者から質問がなされ、大好評の研修会となりました。
(記・写真：研修担当)

平成17年第2回 研修会 (6月24日)

「日本にスウェーデン刺繍を広めて50年！叙勲にいたる私の生き方」〜今なお現場に立つのが楽しみ〜

講師 株式会社久家道子エンブroidラー

社長 久家道子氏

会場いっぱい、約80名の参加者のもと、講演が始まりました。

久家道子先生は宮崎で文化活動の流布に尽力していたお祖母様・大阪で手芸店を営んでいたお母様の影響を受けお育ちになりました。中国へ移住された後、小学校卒業時には単身東京に戻られ自由学園に入学、卒業後本格的に刺繍制作に取り組み始め、22歳から3年間チリ・サンチャゴにて大使夫婦の刺繍の家庭教師を勤められました。昭和32年に出版された「スウェーデン刺繍」が100万部を超す大ベストセラーとなり、刺繍指導家としての道が開け始めたそうです。

昭和51年には株式会社久家道子エンブroidラーを設立。そして平成15年秋に旭日双光章を受賞されました。先生は国内の刺繍教室での指導だけでなく、中国・北京においても指導を行い、アジアの女性の自立援助に多大な貢献をされるとともに、N T T刺繍電報事業への参入ビジネスを確立し自社を成長へと導かれました。現在も国内外を飛び回り多忙を極める毎日と



のことですが、現場に立つ喜びを日々感じていらつしやるそうです。
講演後、刺繍用具が用意され、プチポアン刺繍の基礎を体験しました。
(記・写真：研修担当)

平成17年第3回 研修会 (9月7日)

「経営は はだしの凧あげ」

講師 株式会社飾一

代表取締役社長 岩宮陽子氏

第3回女性会研修会は「ウーマン・オブ・ザ・イヤール2005」スターグループ社より世界優秀女性企業家賞など、数多くの受賞者である株式会社「飾一」代表取締役 岩宮陽子様から『経営ははだしの凧揚げ』と題してご講演をいただきました。

まず、水引による「現代風正月飾り」考案からナノテク「超越紙」開発に至る経緯がビデオで上映された後、お話が始まりました。

岩宮様の一女性として家庭人からの創業・起業の際の大変な苦労、そして「結びの文化水引」を世界的に広め「水引イメージアーティスト」として認定された喜び、会社の発展と「超越紙」の発見に至る活躍を中心にお話いただきました。岩宮様の静かな中にも実体験に基づく迫力のある語り口に、参加者全員聞き入り、そして感銘を受けました。講演後は参加者から「素晴らしいお話だった、とても有意義だった」と大変好評な研修会となりました。
(記・写真：研修担当)



有意義だった」と大変好評な研修会となりました。
(記・写真：研修担当)

東京商工会議所園遊会 (4月12日)

桜と若葉の庭園を楽しむ

舞い散る桜と芽吹きはじめた若緑の景色のなか、港区白金台にある大きな門をくぐると、静かな日本庭園に囲まれた白金八芳園があります。



平成17年4月12日、あいにくの小雨模様、肌寒さを感じるなかで東商園遊会が開催されました。会場の中央にしつらえられた桜の見事なオブジェをとり囲むように、約360名の参加者が集いました。山口信夫会頭より11月に行われた議員選挙の結果選出された正副会頭・特別顧問が紹介された後、宴が始まりました。

会場では、パリ国際ギターコンクール優勝の福田進一氏によるギターの調べに耳を傾け、正副会頭から提供のワインに酔い、童心に戻って輪投げ・射的・鉛細工を楽しみました。天候が良ければ庭園で楽しめた野点や和菓子の実演も室内での催しになってしまいましたが、おいしいお食事に舌鼓を打ち、日ごろの仕事の厳しさを忘れたひと時、優雅な時間を過ごしました。

さて、来年はどのような桜に会えるでしょう。楽しみみです。

(記…石野康子 写真…志摩淑子)

交流会 (4月18日)

『十八代目中村勘三郎 襲名披露興行』歌舞伎鑑賞会

東商女性会50周年がご縁の幸せ。今4月18日は、十八代目中村勘三郎丈誕生に沸く歌舞伎座での交流会です。

はんなりまたは粋に、和服でご参集の会員の方もチラホラ。2階ロビーには、東商女性会をはじめ各界からの贈り蘭や贈り幕、襖絵を眺めた後、名店コーナー平木製菓様より頂戴の襲名記念のお土産を手に、皆様、楽しそうに各お席に。

一幕目は「やつとことつちやあうんとこな」の荒事『歌舞伎十八番・毛拔』。「寿の字海老の袴」で市川團十郎丈が華を添えます。『口上』では、それぞれのお家の色袴で並ぶ役者の個性のある口上に酔いしました。

いよいよ『籠釣瓶花街酔醒』。江戸の吉原。佐野からきた真面目な絹商人次郎左衛門。ふとした事から微笑みかけられたと勘違いして見初めた花魁八ツ橋(玉三郎丈)。彼女にふられ、深く恨んで遂には手にかける次郎左衛門を鬼気迫る妖刀と佇む姿で勘三郎丈が演じました。万雷の拍手と興奮冷めやらぬ劇場の後、お開きとなりました。

(記…写真…交流担当)



ネットワーク例会 (7月14日)

当日は30名の参加者が3グループに分かれ、それぞれの会場で一人約3〜4分を目安に自社PRのプレゼンテーションを行いました。そこでは自社パンフレットを掲げながら、自社の事業展開や商品のコンセプトについて説明するなど、参加者全員が自社のPRに熱弁を振るい、盛り上がりを見せました。



各会場でのプレゼンテーション終了後、別室にて合同懇親会が開催され、和気あいあいと親睦を深めながらも、名刺やパンフレット交換等、積極的な交流と情報交換が行われました。

また、懇親会のなかでゲストとして参加された歌手の綾乃ひびきさんが特別に素晴らしい歌声を披露してください、参加者全員がとても楽しいひと時を過ごすことができました。

最後にこの例会をはじめとして、女性会の諸事業を通じて女性会会員相互のネットワークがますます広がっていく事と、お互い良き交流が出来る事を念じ、平成17年度ネットワーク例会が閉会されました。(記…保田和江 写真…水上郷子)

平成17年度 東京商工会議所 女性会会員総会開かれる

～会員増強を目標に更なる飛躍を目指す～

平成17年6月9日、東京商工会議所ビル7階・国際会議場にて、「平成17年度 東京商工会議所女性会会員総会」が開催されました。

はじめに齋藤朝子会長から「新聞等では日本の経済状況は最悪期を脱出したと報道されていますが、私たち中小企業の経営者にはなかなかそういった実感はありません。これからは日本の女性が活力源となり、社会をリードしていく時代です。私たち女性会の会員一人ひとりが、日々



研鑽し、女性の熱心さ、感性、忍耐力などで、日本を支えていきましよう」との挨拶があり、その後、2名の議事録署名人の選任を経て、齋藤会長が議長となり、議件に移りました。

まずはじめに議件1として平成16年度事業報告(案)および収支決算(案)について平成16年度の事業報告がなされ、次いで佐藤廣子監事より収支決算が適正に処理された旨、報告されました。

続いて議件2として平成17年度事業計画(案)および収支予算(案)について齋藤会長が、今後は女性会入会のメリットや意義を更に拡充することによって組織力を高め、更なる「躍進」をめざして、会員増強を新たに展開し、組織基盤の強化に積極的に取り組んでいく旨、表明されました。その後、平成17年度収支予算(案)の説明、平成17年度事業計

画については全会員向け事業の充実、本部委員会、支部等との連携・交流、関係団体との連携・交流、組織基盤の強化をテーマに事業を企画していく旨の説明があり、承認されました。また、議件について会員から積極的な質問が寄せられ、今後の活動への期待が感じられました。

以上の通り、すべての議件が審議・了承され、総会は滞りなく終了しました。

引き続き開催された少子化問題委員会講演会後は、会場を特別会議室Aに移し、懇親会を開催しました。懇親会では新入会員の紹介とともに、今春の叙勲で栄えある瑞宝双光



章を受章された吉田敏江さんに女性会からお祝いをしました。その後は会員同士が親睦を深め、おいしい料理に舌鼓をうち、和やかな雰囲気の中に、散会となりました。

(記：奥山睦 写真：奥永久美、西尾多恵子)



第37回全国商工会議所女性会連合会 名古屋総会



平成17年9月2日に名古屋総会が、『愛・地球博』の会期にあわせて、ウェスティンナゴヤキャッスルで開催され、316女性会から1050人の参加のもと盛況裏に開催されました。各地女性会の正副会長を対象に、「総会形式」で開催されるのは昨年の東京総会に次いで2度目。総会では、昨年、全商女性連会長に就任された齋藤朝子東商女性会会長から「固い友情で結ばれた女性経営者が一堂に会する本総会は、今後の企業経営や女性会活動のヒントをつかみ

とるための絶好の機会」との挨拶後、山口信夫日本・東京商工会議所会頭、ホスト女性会である、加藤あつこ名古屋商工会議所女性会会長の挨拶があり、引き続き、小泉純一郎内閣総理大臣メッセージ、松原武久名古屋市長の祝辞がありました。また、第4回女性起業家大賞には、最優秀賞に静岡市の北極白熊堂(有)代表取締役・園田正世さん、スターアップ部門の優秀賞に福井市のHELLO TOMORROW JAPAN ORDER BODY LAB代表・織田静香さん、そしてグロース部門の優秀賞に東京都中央区の(有)ゼネラルフード事業スタジオ代表取締役・石川幸千代さんが受賞されました。さらに、全商女性連表彰制度に基づき特

別功労者表彰14名、会員増強など組織強化に取り組んだ10女性会、他の女性会の範となる事業活動を展開した1女性会が、それぞれ表彰されました。総会後、張富士夫トヨタ自動車(株)取締役副会長から「改善と経営」と題した記念講演会が開催され「改善にはムダを省くしくみづくりが重要」との話がありました。最後に懇親会で参加者同士の交流を深めました。そして、翌日は、エキスカーションとして『愛・地球博』視察会が開催されました。来年は三重県(伊勢市)で全国大会(全女性会会員を対象)が開催されます。

(記・事務局)

東京都内 商工会議所 女性会 正副会長会議 (報告)

平成17年8月26日(金)正午より特別会議室にて東京・武蔵野・町田の正副会長に事務局を含めた18名が出席し、東京都内商工会議所女性会正副会長会議が開催されました。

まず、東京・武蔵野・町田それぞれの女性会の会長よりご挨拶があった後、出席者の自己紹介が行われ、議事へと入りました。

本会議の議題である関商女性連女性経営者支援事業「チア! ビジネスウーマン2005 IN 東

京」について、事務局より本事業の実施概要について説明があった後、企画・運営等について話し合いが行われました。

本事業のテーマについては様々な意見交換の後、「明日を拓く女性リーダー女性の働き方の変化と新たなチャレンジ」に決定しました。

続いてキャスティングについて、基調講演者とパネルディスカッションのコーディネーター

とパネラーの候補者について話し合い、女性経営者等の方々のお名前が挙がりました。また本事業の参加費については、事業をより充実したものにするため、参加費を200円に設定するという事に決定しました。

最後に東京商工会議所女性会の吉川稲美副会長より閉会のご挨拶があり、本会議は終了しました。

大井町線等々力駅から3分ほど歩き階段を下りると、そこにはまるで東京とは思えない別世界があります。

川幅約5メートルの水の流れに沿って、両側には四季折々の背の高い緑のトンネルが続いています。春は桜、新緑、夏の涼しさ、秋は色づいた木々、

すばらしい都会のオアシスです。

約15分ほど川べりを歩いていくと、等々力不動尊にたどり着きます。名前は瀧轟山明王院。こちらは満願寺の別院で、開山は興

教大師、高野山を再興して真言宗中興の祖です。瀧轟山明王院ですが、一般には等々力不動で知られています。又、ここは等々力の滝、不動の滝、利剣の滝などと呼ばれ今も夏冬枯れることなく、四季朝暮に修行する

人が絶えません。

山門は昭和43年に満願寺旧山門を移したもので数百年来この地にあつたかと思われるようなたたずまいです。

境内の秋色は又格別、公園として開放し都民の憩いの場となっています。



■ 等々力溪谷 ■

帰り道、不動尊からの階段を下りると不動の滝のそばに赤い毛氈を敷いた「雪月花」というお休み所があります。おいしい葛餅のものんびりと…。

駅の反対側5分ほどの所に本院の満願寺があります。約300坪の境内は昭和45年に満500年に当たり新しく現在の建物に建て替えられたそうです。こちらも是非お薦めコースです。

(紅葉の見えるころは10月末～11月末)
(記：保田和江、写真提供：満願寺)

メディアに登場した

メンバーたち

- ◎ HOTERES (平成17年3月11日号掲載) 「サービスマン」で橋田佳音利会員のインタビューが働く中高年女性の現状や魅力に注目している内容で掲載されました。
- ◎ スカイパーフェクトTVの日本チャンネル桜 (平成17年3月25日放映) 「金髪艶と美しい仲間たち」で吉川稲美副会長と金先生との対談が放映されました。
- ◎ 税のしるべ (平成17年4月11日掲載) (社)麹町法人会女性部会総会で大津洋子会員が新部会長に就任された記事が掲載されました。
- ◎ 日刊工業新聞 (平成17年4月20日掲載) 若手社員を対象にしたビジネス講座を携帯で提供する記事に伊神純子会員が登場しました。
- ◎ テレビ東京 (平成17年4月25日放映) ・テレビ朝日 (平成17年6月6日放映) ・白鳥早奈英会員が「月曜エンターテイメント」にて「マシユルム美容法」で、また「快適スバリ」では「食べ合わせで梅雨を乗り切る」に出演されました。
- ◎ NHK・BS2 (平成17年5月18日放映) 「藤山直美とゆかいな仲間たち」で市瀬優子会員の「銀座・羽衣」が、懐かしい味として紹介されました。
- ◎ 日本テレビ (平成17年5月26日放映) 「新どっちの料理ショー」のカレーライズVSかつ井で関裕子会員の店「ふみぜん」が紹介されました。
- ◎ 産経新聞 (平成17年5月29日掲載) 「スタイルの職人」のコーナー、「日本に美しきものあり」というタイトルで小泉清子名誉会長のインタビューが紹介されました。
- ◎ 読売新聞 (平成17年5月29日掲載) 大田区の製造業者の職人魂に注目した著書「メイド・イン・大田区」の紹介で奥山睦会員の記事が掲載されました。
- ◎ NHK (平成17年6月24・25日放映) 郷農杉子会員が「日本、これから」人口減少社会に出演されました。
- ◎ 「産業新潮」(平成17年8月号) 企業設立のきっかけや商品の独自性にこだわる山崎登美子副会長の記事が掲載されました。
- ◎ TOKYO FM「SOYAFARM」(平成17年8月27日放送) 作田智子会員が岩盤浴のコメンテーターとして、出演されました。
- ◎ 日刊工業新聞 (平成17年9月12日掲載) 「侃々諤々」コーナーに齋藤朝子会長が登場されました。

俳句 川柳

俳句 ややこしい 仕事片付け 秋高し 山崎登美子
川柳 二代目は三十路過ぎても「お嬢ちゃん」 水上郷子

東商支部の
女性関連組織をたずねて
～江東支部女性部会～



新井 英希
江東支部女性部会会長

現在、東京商工会議所23支部のうち6支部に女性関連組織が設置されています。今回は東商女性会理事の新井英希さんを部会長として、様々な会合・懇親会・交流会・視察会などの活動を行っている江東支部女性部会（会員・100名）の総会におじゃま致しました。

7月7日に41名の出席者のもと、ホテルイースト21で江東支部女性部会総会が開催されました。総会の後、株式会社飾一・岩宮陽子社長による講演会が行われ、主婦から47歳で創業し、年商約12億円の会社に育

てあげたご体験をふまえた、力強く、心揺さぶられるお話をお伺いしました。また、講演会終了後に行われた懇親会では、東商女性会を代表して山崎登美子副会長もお祝いに駆けつけられ、ご挨拶、乾杯のご発声をされました。懇親会には、岩宮社長も参加され、参加者との交流を深められておりました。新井部会長に今後の事業についてお伺いしましたところ、秋にはより娯楽性の高い視察会やコンサート等の企画もあるとのことでした。

この一日を通して、日頃の江東支部女性部会の皆様の結束力とパワーを感じるとともに、本年度の東商女性会の目標である「結束」&「行動」そして「躍進」を実現させるためにも、各支部女性関連組織との連携を益々強くしていく必要性を感じ、帰路に着きました。

（記：石野康子 写真：佐原泰子）

訃報

当女性会特別顧問の森井登久子様（森井電業株式会社・名誉会長）が平成17年8月17日に逝去されました（享年99歳）。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

◆ゴルフ同好会◆

第6回ゴルフ同好会が、7月2日、3日「フォレストカントリークラブ三井の森」で行われました。この日は蓼科だけはすばらしいお天気に恵まれ、21名参加のコンペがスタートしました。夜は蓼科フォーラムで成績発表、表彰式、又、初参加の自己紹介等、親睦を深めました。優勝は大石アケミさん、準優勝は志摩淑子さんでした。今年最後の同好会は10月14日、千葉県の「グレートアイランド倶楽部」を予定しております。皆さん、奮っての参加をお待ちしています！（記：保田和江）

同好会



第6回ゴルフ同好会



第5回くらぶ倶楽部例会

◆くらぶ倶楽部◆

4月4日に第4回例会として小石川後樂園で、見事なシタレザクラとソメイヨシノ、二つの桜の鑑賞会を開催しました。また、7月22日に第5回例会として、五反田で戦後から続く洋食屋さんでの食事と、くらぶ倶楽部会長である山野壽子副会長が紹介してくださったコンテンポラリーダンスの公演を堪能しました。

東商女性会 今後の主な行事予定

- 平成17年
- 10月4日（火）
亀田メディカルセンター視察会
- 11月9日（水）
関西女性連 女性経営者支援事業
「チア！ ビジネススウーマン2005-I-N東京」
- 平成18年
- 1月26日（木）
新年懇親会
（於：プリンスホテルパークタワー）

編集後記

地球規模での天候不順の中、昨年6月の女性会創立55周年記念事業及び平成16年会員総会から始まり、全商女性連東京総会・関商女性連東京大会と、3つの大事業を無事終えて実りの秋を迎えました。

さらに女性会としても実りのある事業となるよう、巻頭に「少子化問題委員会」を取り上げました。会員の皆様に、年2回の発刊を楽しみにして頂けるような情報発信の場として一翼を担いたいと切念しております。

情報・広報担当リーダー 石野康子

情報・広報担当一覧（敬称略・順不同）

- 副会長：山崎登美子／山野壽子／渡辺光子
- リーダー：石野康子
- 井上象英／八木美重子／五十嵐容子／藤沢薫／安井啓子／相坂袖火子／阿部千恵子／志摩淑子／西尾多恵子／保田和江／美安達子／浅野邦子／伊藤淳子／梅岡聖子／大津洋子／奥永久美／奥山睦／金原好紀／神田妙子／佐藤俊江／佐原泰子／鈴木紀子／竹華静／椿克美／長谷川泰子／林和恵／平木幸子／松平洋史子／水上郷子／宮田眞知子（平成17年9月末日現在）



東商女性会
組織基盤強化活動「パワーアップ 2005-07」
会員募集 目標600会員を目指して

交流の拡大、発言力の強化、事業の充実のために、
お知り合いの女性経営者で当女性会に未加入の方がいらっしゃいましたら、
是非一声お掛け下さいますようお願い申し上げます。

東商LADY

2005年10月1日 第9号

発行所
東京商工会議所会員情報部会員交流センター

発行人
東京商工会議所女性会
会長 齋藤朝子

編集人
東京商工会議所女性会
情報・広報担当
表紙写真:世界文化フォト